



平成27年11月13日

各位

会社名 明治機械株式会社  
代表者名 代表取締役社長 河野 猛  
(コード番号 6334 東証第二部)  
問合せ先 取締役総務部長 小林 文彦  
(TEL. 03-5295-3511)

### 平成28年3月期第2四半期(累計)業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正 に関するお知らせ

この度、平成28年5月12日に公表いたしました第2四半期(累計)の業績予想値(連結・個別)と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想数値と実績値との差異

##### (1) 連結

平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績値との差異(平成27年4月1日～平成27年9月30日)  
(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	2,188	30	24	18	1円90銭
実績値(B)	2,710	9	12	44	4円68銭
増減額(B-A)	522	△21	△12	26	
増減率(%)	23.9	△70.0	△50.0	144.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	1,977	△86	△41	△1	△0円21銭

##### (2) 個別

平成28年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値と実績値との差異(平成27年4月1日～平成27年9月30日)  
(単位:百万円)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	2,120	26	20	2円11銭
実績値(B)	2,638	6	38	4円01銭
増減額(B-A)	518	△20	18	
増減率(%)	24.4	△76.9	90.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	1,287	△54	△97	△10円30銭

### (3) 差異が生じた理由

#### ① 連結

##### i 売上高

売上高につきましては、産業機械関連事業の売上は予想に比べ受注価格競争の激化などの影響で減収となりましたが、一方、新規事業の太陽光関連事業の売上が伸長し、全体的としては増収となりました。

##### ii 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益

売上高は増収となりましたが、プラント工事案件の採算悪化などが損益関係を圧迫することとなりました。

また、当第2四半期（累計）において、特別利益として、社宅跡地の売却による土地売却益 21 百万円、前代表取締役の損害賠償訴訟の和解による訴訟和解金 10 百万円を計上しました。

この結果、平成 28 年 3 月期第 2 四半期（累計）の売上高 2,710 百万円、営業利益 9 百万円、経常利益 12 百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益 44 百万円となりました。

#### ② 個別

##### i 売上高

売上高につきましては、前述の連結決算同様の理由により増収となりました。

##### ii 経常利益、四半期純利益

損益関係につきましても、主に前述の連結決算同様の理由により、平成 28 年 3 月期第 2 四半期（累計）の売上高 2,638 百万円、経常利益 6 百万円、四半期純利益 38 百万円となりました。

## 2. 通期業績予想の修正

### (1) 連結

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	4,476	101	89	77	8円12銭
今回修正予想(B)	5,139	101	89	108	11円38銭
増減額(B-A)	663	—	—	31	
増減率(%)	14.8	—	—	40.3	
(ご参考)前期実績(平成27年3月期)	4,190	△108	△82	△30	△3円19銭

### (2) 個別

平成 28 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	4,340	93	81	8円54銭
今回修正予想(B)	5,003	93	112	11円80銭
増減額(B-A)	663	—	31	
増減率(%)	15.3	—	38.3	
(ご参考)前期実績(平成27年3月期)	3,452	△72	△101	△10円70銭

(3) 修正の理由

第2四半期（累計）の業績及び今後の関連業界の動向等を踏まえ、また、当社グループにとって今後も厳しい事業環境が継続するものと予想されますが、既存の産業機械関連事業及び新規事業の太陽光関連事業において、当社グループを挙げ受注・売上拡大と原価低減に鋭意取り組んでまいり所存であり、通期業績予想につきましては、連結・個別ともに増収を見込んでおり、損益関係では、前述の特別利益の計上により（親会社株主に帰属する）当期純利益の増益が見込まれますが、営業利益、経常利益の変更は行っておりません。

これにより、通期の連結業績は、売上高 5,139 百万円、営業利益 101 百万円、経常利益 89 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益 102 百万円を予想しております。

また、通期の個別業績は、売上高 5,003 百万円、経常利益 93 百万円、当期純利益 112 百万円を予想しております。

(注) 上記の予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以 上